

社会福祉法人  
北ひろしま福祉会

# 蝦夷 52

vol.52  
エゾエンゴ・サク

## 援護 咲く

昭和26年に社会福祉事業法が制定され64年が過ぎました。時代とともに現状にそぐわないところもありますが、福祉先進地の北欧にもないこの社会福祉事業法を決して悲観的に考えるべきでないと思います。国が直接的に関わるのではなく、公益性を重視し行政が指導監督のもと社会福祉法人がその業務を遂行する。時代の経過とともにその役割、範囲は多様化しなければならないと思いますが、全面否定されるものではないと思います。

私は大学の専攻が経済学で、マルクスの資本論に始まり、JMケインズの経済学を中心に学びました。私の学生時代もオイルショックで経済的にも厳しい時代でした。今年は世界的経済学者のトマ・ピケティ氏の来日で話題になり、「経済的不平等と所得の格差の拡大」「富の再配分」について論じられています。富める人と貧しい人の経済格差は拡大する一方で、まさに今世界で起きている紛争、飢餓、異常気象などの社会問題、自然現象の変化等と決して無縁の話ではないと思います。

心の豊かさを人それぞれが意識して他者への気配りをする、まさにおもてなしです。四国お遍路のお接待の習慣は、日本文化が世界に誇れる心の豊かさだと思います。一人一人が心の豊かさを誰かにおすそ分けできる、そんな社会にできるよう皆さんと実践していきたいと思います。

北ひろしま福祉会 総合施設長 奥田 誠

### BCP(事業継続計画)を策定

地震や大事故等の危機事案に備え、被害を最小限に抑え、必要な業務が継続できるよう、事前に定める計画のことです。

平成23年3月11日に発生した東日本大震災は未曾有の国難となり、現在も継続して避難されている方がいます。このような大規模な災害が私たちの活動する地域で発生した場合どのように事業を継続していくか、被災した利用者、職員、地域の皆様をどのように守っていくのか検討し、準備していくことが重要であると考え、災害時の事業継続計画(BCP)を整備、策定することとしました。

### BCP策定の趣旨

北ひろしま福祉会は、災害時に事業継続をしていくことで地域貢献を行っていきます。

法人サービスを利用されている方々やそのご家族、地域の皆様にとって継続的にサービスを実施することが私たち社会福祉法人の使命です。

### BCPの目標

- 1 利用者の安全を守り、職員の安全を守る。**.....  
災害時における安全確保を行う。我が身の安全確保が必要であるため、職員の安全を守る。
- 2 利用者に対するサービスを継続的に提供できるようにする。**.....  
災害時に困るのは、支援介護が必要な障がい者、高齢者であり、独居もしくは高齢者世帯である。災害後も継続的に安定的にサービス提供できるようにする。
- 3 地域の災害拠点になる。**.....  
施設が受け入れを表明していても、いなくても社会福祉施設に救いを求めてくることを想定し、地域の災害福祉拠点として活躍する。

#### これまでに 取り組んだこと

- ・事業継続方針の検討・想定する緊急事態とその被害想定・災害対策本部組織図・役割分担
- ・災害時の職員緊急出勤の基準・災害発生時の初動期の対応・緊急時対応マニュアル作成・安否確認システム導入

BCPIは計画策定がゴールではなく、いつ起こるかともわからない災害発生時にスムーズに動けるようになり、職員と利用者の安全、地域への信頼を獲得することがゴールです。

## 東部緑の苑における介護保険サービス

東部緑の苑では特別養護老人ホームをはじめ、地域にお住いの皆様が、住み慣れた場所で安心して暮らし続けるために、居宅介護支援(在宅生活の相談)、デイサービス(日中の介護提供)、ショートステイ(一定期間の施設での介護提供)のサービスを提供しています。いつでもご相談ください。

### 特別養護老人ホーム 東部緑の苑

#### 節分

2月3日、節分と言うことで職員が赤鬼に変装し施設内を回ってきました。

「あ～今日は節分か～」とおっしゃっていました。「ヒャ～!」と驚かれる方、「アハハ!」と大笑いされる方、両手を合わせて拝まれる方もいらっしゃいました。生活の中で季節の移り変わりを感じられる一コマでした。



#### 雛飾り

東部緑の苑では、雛飾りが4台あり、施設内に飾っております。以前は入居者の皆様

もご自宅で娘さんのためにご準備をされていたのではないのでしょうか?七段飾りのお雛様を観て「すごい立派ですね～」「すごいね～」「懐かしいね～」と話している入居者様もいらっしゃいました。また、ご家族様と一緒にご覧になられ、昔を懐かしむ光景も見受けられました。



### ショートステイ 短期入所生活介護 東部緑の苑

介護の必要な高齢者の方に短期間入所して頂き、食事や入浴といった日常生活全般の介護・心身の機能を維持・回復するまでの機能訓練等を提供しております。

ご家族の行事で出掛けるためどうしても介護ができない、一人で自宅に過ごすのが不安である、在宅介護のレスパイトなど入居者のみならずご家族のニーズにできる限り応えられるようなサービスを提供したいと思っております。

東部緑の苑では家庭的な雰囲気を保ち、常に毎日笑って過ごしていただけるよう、入居者にご希望に沿った企画(ドライブ・書道・手芸・お菓子作り等)を行っております。



問い合わせ先

特別養護老人ホーム  
東部緑の苑  
北広島市共栄276番地  
電話番号 011-376-8686

### 居宅介護支援 ケアプランセンター東部緑の苑

在宅での生活が難しくなった方が、住み慣れた地域で生活を送ることが出来るよう支援させていただいております。他に介護が必要な状態にならないように、心身の衰えを予防し、回復させて、いつまでもいきいきと自分らしく生きることを実現するために、地域へ出向いて、介護講座や介護予防体操等を開催させていただいております。



当事業所  
の特色

- ①迅速に対応が出来る。
- ②24時間365日、緊急時の連絡が出来る。
- ③男性・女性のケアマネを配置している。

問い合わせ先

ケアプランセンター東部緑の苑  
北広島市共栄276番地  
電話番号 011-373-8118

### 日中の介護提供 デイサービスセンター ヴェール

デイサービスセンターヴェールでは、その日一日を楽しく過ごそうを motto にスタッフ一同、利用される方々が笑顔でお帰り頂けるよう日々奮闘しています。そんな中、ちょっと一服…肩の力を抜いてホッコリして頂けたらと、調理レクで作った蒸しパンです。お手伝い頂いた皆さまは、格別なおいしさに自画自賛。この笑顔があるから、明日もがんばります。



問い合わせ先

デイサービスセンター ヴェール  
北広島市共栄276番地  
電話番号 011-376-7233



# クリスマス会



12月20日に北広島デイセンター・共栄・とみがおかにてクリスマス会を行いました。

各事業所では、「三者一体」「カラフルクリスマス」「アナと雪のクリスマスファンタジー」といった各事業所でテーマを決めました。バンド演奏や、職員の出し物、デザートを食べながら、利用者様やご家族の皆様楽しんで頂きました。



## 虐待防止

平成24年10月に障がい者虐待防止法が施行され、当法人としても利用者様を虐待から守り、人権を尊重する為に各事業所で虐待防止・権利擁護に関して取り組んでいます。

実際に、虐待に関して口頭での確認を行っていましたが、口頭での説明では虐待とはどのような行為や場面なのか理解して頂くことが難しい状況でした。

そこで、利用者様が“虐待とは何か”を理解し、エンパワメントが高められるよう検討し、虐待の起こるシチュエーションをDVD化しました。

DVDに出演している方々は、法人とは関係のないボランティアさんで、様々な虐待場面を演じています。

このDVDを活用して、利用者様から「これって虐待だったんだ」と虐待がどのようなことかと理解した声が聞かれており、虐待に気付くためのツールとして活用しています。

法人内外問わずDVDを配布しておりますので、ご興味がありましたらご一報下さい。



## 昨年度26年10月より、共栄の食堂が大幅リニューアルしました!

食堂リニューアルのコンセプトとして、「利用者様、一人一人のペースに合わせた食事を提供する」「家具の種類や色合いを意識しながら配置し、施設観を最小限とした食堂空間を再現する」という点を軸に置き、利用者様を中心とした様々な「想い」や「理想」を形にしていく事をテーマに展開しています。食堂がリニューアルされ、利用者様から「2階に食堂が出来た事で、自分が食べたい時(タイミング)に食事ができて嬉しい」「畳席や二人席で食事が出来て落ち着く」といった声が届いており、職員一同これからも利用者様の声に耳を傾け、快適で毎日の食事を楽しみにして頂ける食堂に近づけていきたいと思っております。

2F



1F



## 第50回目 施設開放事業

去る平成26年12月27日から3日間の日程で、毎年恒例となっている施設開放事業が開催されました。

1日目は、お正月を楽しく過ごしてもらおうとコマと羽子板作り、午後からはレクリエーションで大いに盛り上がりました。また昼食は、食べるのがもったいないくらい、かわいいキャラクターカレーが好評でした。

2日目は、夏とは違った魅力のレトロな街並みの小樽でキャンドル作りを体験。もう一つのグループは千歳に行き、真っ白な雪と青空のもとで雪遊びを体験し冬を満喫しました。

3日目は、ガトーキングダムに行きましたが、比較的空いていたこともあり、ウォータースライダーもたくさん楽しむことができました。

自宅までの送迎と、施設職員その他、ボランティアさんの協力もあり、初めての方でも安心して参加して頂けると思います。

次回、夏の施設開放事業もたくさんの方のご参加をお待ちしております!!



## ティーボール 北の甲子園に出場しました



11月2日(日)札幌ドームで開催されました「第20回赤い羽根ティーボール北の甲子園記念大会北海道知事CUP」は全道の障がい者施設の利用者や小学生チームなど約80チームが参加し、当法人からも「トミーズ」「ブルースター」の2チームが出場しました。ティーボールは野球に似た競技でピッチャーの代わりに棒の上に置いた球を打つことから、障がい者もプレーしやすく全国で普及し始めています。試合結果はトミーズが1回戦敗退、ブルースターが2回戦敗退でしたが、参加された方からは「来年もぜひ出場したい。」「来年は練習して優勝を目指したい。」という意気込みが聞かれました。



## 北広島デイセンター iPad(アイパッド)

北広島デイセンターでは、平成26年度よりiPadを使用した支援を実施しています。

使用用途としては

①隙間(送迎前後・昼食後等)の時間での使用 ②活動でAPPLE TVを用いた使用 ③利用者様への告知 ④ご家庭に利用者様の様子を伝える方法として使用しています。

使用しての様子は、空いた時間でyoutubeで好きな動画を見て楽しんでいたりと、活動ではiPadの情報を大画面に映し出し、みんなで歌ったり踊ったりして楽しみながら参加しています。ご家族は普段中々見ることが出来ない活動等の様子を見ることが出来ると好評です。

今後は、今以上に支援の中に取り入れて楽しみを提供し「明日も来たい!」と思ってもらえるような事業所を目指しています。

またライフサポートセンターでも、今年に入ってから見学時の事業所紹介や実習生の振り返り、評価等でiPadを使用した動画を提示する運用を開始しています。iPadの活用により、活動・作業の時間帯以外でも動画紹介による見学対応が可能となりました!!

今後は、法人で行っているイベントの様子を記録し、年間を通しての利用イメージを持って頂けるように取り組んでいきたいと思っています。



# 法人の送迎車輛が地域のパトロール車になりました

法人の利用者様を送迎するワゴン車に「パトロール中」と書かれたステッカーを貼って11月より運行しています。

これは、私たちが住む地域の「安心・安全」を警察関係者だけではなく、法人も一体となって取り組んで行こうという地域貢献活動の一環として始めました。

地域の安全は、そこに住まわれている全ての方の願いでもあり、安全な地域は、子供も高齢者も障がい者も住みやすい安心して暮らせる街ということですので、その一助となるよう法人を挙げて取り組んでいきます。



## ふれあいステーション インフォメーション

ほっと

平成26年11月19日 ふれあいステーションほっとで毎週水曜日15時30分から開催されている「寺子屋」の見学に、上野正三北広島市長、道塚副市長、教育委員会青少年課 平澤課長がお越しになりました。

「寺子屋」は、「塾でもない、学校でもない、自主学習の場」で、定年退職された教員OB・OGの方たちや教員を目指す学生さんたちが、ボランティアで来ていただいています。子供たちの学習の内容は様々で、宿題やドリルなど思い思いの内容で自主学習をし、先生は側面からアドバイスをするというスタイルです。寺子屋の主な狙いは、子供たちに学習習慣をつけることや、学習への意欲向上のきっかけづくりでもあります。

北広島市としても、この取り組みに注目をしています。この寺子屋の取り組みが他地域でも、子供たちのために広がっていくことを願っています。



# 社会福祉法人 北ひろしま福祉会 事業所一覧



## 今 後 の 予 定

5月

環境整備・春祭り

5月24日他

緑の郷旅行

7月31日～

第51回施設開放事業

8月22日

市民の郷まつり

## 編集後記



雪解けも進み、各地からさくらの便りが聞かれる頃になりました。

今回の施設広報誌では平成26年度後期(10月～3月)の法人の動向・トピックスをお届けさせていただきました。

介護保険事業関係はもちろんの事、その他にも法人としての新たな取り組みや、障がい部門での行事や活動が一目でわかる内容になっております。

平成27年度も地域に根差したサービス展開をしていきたいと考えておりますのでどうぞよろしくお願い致します。

## 法人窓口

〒061-1123 北広島市朝日町4丁目4番地11

電話代表 011-373-8809 FAX 011-373-8673

ホームページ <http://www.kitahiro-fukusikai.or.jp/>

Facebook <https://www.facebook.com/kitahirofukusikai>

E-mail [honbu@kitahiro-fukusikai.or.jp](mailto:honbu@kitahiro-fukusikai.or.jp)